

日本地球惑星科学連合役員候補者推薦委員会 会議議事録案

1. 開催日時:2026年4月22日(月)15:00~15:45
2. 開催場所:Zoom
3. 委員:会長 ウォリス サイモン (東京大学)
学協会長会議議長 徳永 朋祥 (東京大学)
次期セクションプレジデント
宇宙惑星科学 三好 由純 (名古屋大学) 欠席
大気水圏科学 野中 正見 (海洋研究開発機構)
地球人間圏科学 山野 博哉 (東京大学) 欠席
固体地球科学 沖野 郷子 (東京大学)
地球生命科学 大河内 直彦 (海洋研究開発機構) 欠席
(敬称略)

4. 議事

開始予定時刻となったため、議長が議長席に着き、会議の開始を宣言した。以下議事に入った。

議事1. 経緯の説明

議長より、本委員会の趣旨説明があった。

理事候補者選出にあたっては選挙結果だけではなくダイバーシティを考慮したうえで役員候補を推薦するために本委員会での検討により候補者名簿を作成することになっているという説明があった。

山野委員、大河内委員からは事前にコメントを得ているとの説明があった。

徳永委員より再任制限について質問があり、ウォリス会長より再任の制限はないという説明があった。

議事2. 理事候補の選任

○経緯説明

議長より、理事候補の選任について説明があった。今回の改選より理事の最大数が20名から30名になった。これは多様な候補を推薦するためであったが、選挙に立候補したのが18名であった。そのため選挙による候補とは別に、新たにリーダーシップから11名を推薦した。

法改正により外部理事を選出する必要が生じたという点について説明があった。委員より外部理事の役割について質問があり、ウォリス会長より法人運営におけるコンプライアンス厳守のためという説明があった。法改正等について事務局より補足説明があった。

○選挙による候補について

選挙による候補について検討した。下位の候補の得票数についてコメントがあったが、多様性の確保や選挙への立候補という意欲を勘案すると候補として相応しいという意見があった。

出席委員全員が、18名を候補として承認した。

○リーダーシップ推薦による候補について

リーダーシップ推薦による候補について検討した。徳永委員より、地球惑星科学総合の候補が案に含まれていない点について質問があり、ウォリス会長より地球惑星科学総合出身である星会員を監事として選出したいという説明があった。徳永委員より、理事と監事は役割が異

なるので、引き続き多様な視点を尊重した理事会運営が望まれるというコメントがあった。

沖野委員より、全体として大学所属の候補が多く、研究機関の委員が少ない印象を受けたというコメントがあった。

地球人間圏所属の候補の抱負についてコメントがあった。地球人間圏所属の三名の候補者は地球人間圏に焦点を当てた抱負になっているので、ウォリス会長より地球惑星科学全体を視野に入れた抱負に改定するよう依頼することになった。

出席委員全員が、11名を候補として承認した。

議事3. 理事候補の選任

監事候補について検討した。

出席委員全員が、3名を候補として承認した。

議事4. 今後について

ウォリス会長より、地球人間圏所属のリーダーシップ推薦による候補者の抱負の改定を依頼して候補者リストを作成する。三好委員のコメントを待って、議事録を確定する。そのうえで、新代議員への連絡とweb公開へ進む。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(15:45)

なお後日、地球人間圏所属のリーダーシップ推薦による候補者三名より抱負の改定を得た。また三好委員からウォリス会長に審議内容に承認するとのコメントがあった。以上により委員全員の承認を得るところとなった。

以上